

福島第二原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年3月9日（火）
- 2 確認箇所
 - ・ 2号機原子炉建屋
 - ・ サイトバンカ建屋
- 3 確認項目
令和3年2月13日に発生した地震後の状況確認
- 4 確認結果

福島第二原子力発電所において令和3年2月13日の地震の影響で発生した2号機排気ダクトチャンバーからの漏えい事象及びサイトバンカ建屋プールからの溢水事象のその後の状況確認を行った。

< 2号機原子炉建屋 >

- ・ 漏えいがあった排気ダクトチャンバーの入口フランジ部は、床面から高さ約8mの場所に設置されてあった。（写真1）
- ・ 漏えい水はすでに拭き取りされていた。（写真2）
- ・ 東京電力によると、当該ダクトに入った水は、ドレンラインから廃棄物処理建屋の排水処理施設に流れるため、構造上外部へ漏えいするものではないとのことであり、今後はフランジ部のコーキング方法を見直す予定とのことであった。（写真3）



（写真1－1）

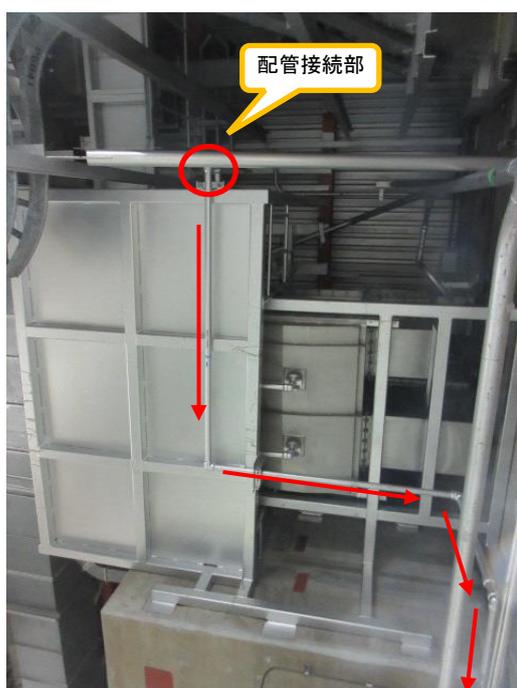
漏えい発生箇所と床面までの距離



(写真1-2)
漏えい発生箇所拡大
赤丸部分が漏えいがあったと思われる
接続部



(写真2)
水溜まりがあった箇所
赤丸部分がおおよその箇所（拭取り
済）



(写真3-1)
ドレン配管敷設状況
赤矢印に沿った配管がドレン配管



(写真3-2)
ドレン配管敷設先の状況
ファンネル内の排水口を通して、廃棄物処理建屋の排水処理施設に流れ込む

<サイトバンカ建屋>

- ・サイトバンカ建屋プールには、高さ約1mの囲いが設置されていた。(写真4)
- ・現場確認時には、溢水はすでに拭き取りされていた。(写真5)
- ・東京電力によると、今回のスロッシングはチェッカープレートで蓋をしていた箇所のシール部が劣化あるいは不十分であったため発生したものと考えているため、シールの再施工を実施するとのことであった。



(写真4)
サイトバンカ建屋プールの状況
北西側から撮影



(写真5)
溢水発生箇所(赤丸部分)
赤丸部分が水溜まりがあった箇所
(拭取り済)
黄色点線部分が隙間
西側から撮影